

佐世保市議会
令和元年12月定例会 一般質問順序

質問日	順序	議席 番号	氏名	所属会派	質問方式	質問 時間
12月9日 (月)	1	30	市岡 博道	自民党市民会議	【一括方式】	30分
	2	33	山下 隆良	市民クラブ	【一括方式】	30分
	3	17	湊 浩二郎	自民党市民会議	【一問一答方式 (2回目から)】	25分
	4	13	永田 秀人	市民クラブ	【一問一答方式 (2回目から)】	30分
	5	2	鶴 大地	自民党市民会議	【一括方式】	25分
12月10日 (火)	6	15	山下 廣大	自民党市民会議	【一括方式】	25分
	7	22	柴山 賢一	市民クラブ	【一括方式】	20分
	8	28	長野 孝道	自民党市民会議	【一括方式】	20分
	9	10	宮島 武雄	公明党	【一括方式】	30分
	10	8	久保 葉人	自民党市民会議	【一問一答方式 (2回目から)】	30分
12月11日 (水)	11	20	林 健二	自民党市民会議	【一問一答方式 (2回目から)】	30分
	12	24	大村 哲史	自民党市民会議	【一括方式】	30分
	13	4	小田 徳顕	日本共産党	【一問一答方式 (1回目から)】	15分
	14	23	小野原 茂	市民クラブ	【一括方式】	25分
12月12日 (木)	15	31	大塚 克史	公明党	【一括方式】	30分
	16	1	田山 藤丸	自民党市民会議	【一問一答方式 (2回目から)】	30分
	17	7	橋之口 裕太	自民党市民会議	【一問一答方式 (2回目から)】	25分
	18	26	草津 俊比古	自民党市民会議	【一括方式】	30分

○ 市 岡 博 道

(30分)

【一括方式】

1 地籍調査事業について

- 現状を踏まえた、今後の事業推進の考え方

2 佐世保市立急病診療所のあり方について

- あり方検討委員会からの答申を受けて、当局の今後に向けた考え方

3 佐世保市産業支援センターの今後について

- 設立意義を踏まえた今日までの成果
- 今後に向けた県の役割への認識
- 今後の産業支援センターの目指すべき姿

○ 山下隆良 (30分)

【一括方式】

1 火災予防行政の推進について

- 世界遺産登録の沖縄県那覇市首里城火災を受け、文化財を多数有する本市の今後の対応と火災予防対策について、また、これまでの火災事例を受けて関係法令が強化された建物の改善及び指導状況について

2 今年の台風19号等の被害を踏まえた本市の防災について

- 今年10月の台風19号と台風21号に関連する大雨では、約100名の死者・行方不明者が発生したとのことであった。当局としては、今年の台風19号等の台風と大雨での被害をどのように捉えているのか。本市の防災、災害対策を考え直す必要があるように思う。当局の災害対策と認識を尋ねる。

3 農業政策について

- 農業用資産の活用について

先般、食糧自給率が低下したとの報道があっている。市内においても、生産量及び生産者数は減少しており、後継者不足、担い手不足による農地の荒廃、耕作放棄地の増加も大きな課題となっている。整備された農地を初め、水路や農道などの農業用資産をどのように残していくべきか、維持管理していくべきか、当局の対策を尋ねる。

○ 湊 浩二郎 (25分)

【一問一答方式 (2回目から)】

1 市と児童相談所との連携について

厚生労働省によると年間70人から90人の子どもたちが虐待により亡くなっているとの報告がなされています。

しかし、実際には、その約3倍から5倍の虐待死が存在する可能性があるとの指摘もあり、虐待により子どもが亡くなる事件が起こるたび、世間の批判の矛先は児童相談所に向かうことが多く、テレビではカメラのシャッターの音の中、児童相談所の所長が深々と頭を下げる光景をよく見かけます。

平成30年度における児童相談所の対応件数は全国で約16万件に達し、過去最高を記録したと聞き及んでいます。この件数からも、児童相談所のみでは、対応が難しいと思われれます。

そこで、本市において、子どもの虐待の通報があった場合、市と児童相談所との連携や役割分担はどうなっているのですか。また、あわせて、中核市における児童相談所の設置についてもお尋ねします。

2 基幹型地域包括支援センターの設置について

地域包括支援センターは市民の利便性とニーズに応えるため、平成25年4月から市直営型から民間委託型へと移行しました。それから約6年が経過し、行政機能の一部としての役割を果たしているセンターの運営に当たっては、高齢化の状況の変化(要介護・要支援者の増加)、相談件数の増加、困難事例及び休日・夜間の対応等、委託した当初に比べ業務が大きく増加しています。しかしながら、センター職員が地域ケア会議への参加や地域への訪問、実態把握等の活動を十分に行える適切な人員を確保するための委託料の増額がなされていません。このままではセンターが疲弊し、市民への良質なサービスを提供できないのではないかと危惧されます。

そこで、人材を確保するための委託料の増額が難しいのであれば、地域の課題や目標を共有しながら、センター間の総合調整や地域ケア会議の開催や困難事例に対する助言などの後方支援機能を有する「基幹型地域包括支援センター」を設置すべきと思います。そして、地域全体におけるセンター業務の効果的、一体的な運営体制を実現し、地域包括ケアシステムを構築していくことが必要と思われれますが、市長の見解をお尋ねします。

3 障がい者の就労について

障がい者の就労については、障害者総合支援法における就労系障がい福祉サービスによる雇用契約に基づく就労が困難である方を対象とした就労継続支援B型事業と雇用契約に基づく就労が可能である方を対象とした同A型事業、通常の事業所に雇用されることが可能と見込まれる方を対象とした就労移行支援事業があります。

また、障害者雇用促進法により民間企業の法定雇用率は2.2%となっており、従業員を45.5人以上雇用している企業は、障がい者1人以上雇用しなければなりません。

平成30年3月の厚生労働省の調査では、18歳から64歳の障がい者の在宅者数は、全国で約377万人であり、その中で障がい福祉サービスを利用されている方が約32.4万人、企業に雇用されている方が約53.5万人となっており、企業の雇用形態については直接雇用と特例子会社による雇用があります。

この状況を踏まえ、本市における障がい者の就労状況とその取り組みについてお尋ねします。

○ 永 田 秀 人 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

1 路線バス運転士の確保について

公共交通網の中でも路線バスの維持のためには、運転士の確保が重要な課題である。3月末の路線バスの運行体制一体化以降の状況はどのようになっているか、現状を確認し、今後の対応策について問う。

2 市政懇談会による広聴について

朝長市長は市長就任以来、市政懇談会を各地区で2年に一回のペースで開催しているが、その手法や効果について検証し見直す時期に来ているのではないか。市長の考えを問う。

また、市長はIR誘致に関して発信する中で、市政懇談会での反応を紹介しているが、実際の懇談会でのやりとりとはそごがあるように見受けられる。その点についても市長の考えを問う。

3 洪水ハザードマップの活用について

近年の豪雨など災害の規模や内容に変化が見られる中で、洪水ハザードマップの活用は喫緊の課題と考える。平成27年の水防法改正以降の対応について確認した上で、地域の災害リスクを共有するための事業者への啓発や都市計画への反映について、市の考えを問う。

また、住民の災害の記憶といった地域の情報を防災に生かす取り組みについても問う。

○ 鶴 大 地

(25分)

【一括方式】

1 「基地との共存共生」について

基地施設と市民との互惠関係に基づく「基地との共存共生」を市政運営の基本姿勢としている佐世保市における、これまでの取り組みと評価、これからの展望についてお伺いします。

- 「基地との共存共生」について
- 自衛官募集事務について
- 退職自衛官の再就職支援について
- 自衛隊による防災教育支援について

2 「広報・広聴」制度について

インターネットやSNSの普及により、欲しい情報が簡単に手に入るようになった昨今。

しかし一方で、情報過多に悩ませられる声も聞くようになり、これからの広報・広聴のあり方についてお伺いします。

- 現在の取り組みと評価について
- 部署新設や新たな取り組みについて

○ 山 下 廣 大 (25分)

【一括方式】

1 5G時代の到来における佐世保市としての行政サービスの進め方

いよいよ2020年から東京を中心に5Gの運用がスタートします。佐世保市で5Gが利用できるのは、3年ほど先のことですが、5Gサービスのスタートでテクノロジーが進化し、さまざまな生活が変化していきます。そのための事前の準備や対応はしっかりできているのか、佐世保市としての取り組み方、姿勢を御回答ください。

- 観光のあり方（観光の情報発信、観光アプリや通訳機器の利用）
- 農業のあり方（スマート農業、スマートトラップと呼ばれる罾の設置）
- 行政のサービス（窓口サービスの利便性）
- 医療のあり方（遠隔操作による診断や手術）
- 買い物のあり方（自動運転、VRによる仮想空間での買い物、ドローンなどでの輸送）

2 人生100年時代構想についての佐世保市の考え方

2017年、政府より人生100年時代の構想が発表されました。国としての理想や理念は理解するところもありますが、まだまだわからないところが多数あります。実際、これまでの、学生時代に学び、就職し、定年まで勤めて、老後は悠々自適な隠居生活という現状ではなくなってきているのではないのでしょうか。テクノロジーや医療の進化により、長寿となり、生活は激変しつつあります。そのような中で、この現状について佐世保市はどのような考え方、取り組みを行なっているのかお聞きします。

- 健康寿命の延ばし方
- 高齢者雇用について
- リカレント教育の取り組み
- 年金や社会保障制度の維持
- 老後資金は充分なのか

○ 柴 山 賢 一

(20分)

【一括方式】

1 受動喫煙防止対策について

- 受動喫煙防止対策の現状について
- 課題と今後の対応について

2 コンベンション誘致について

- コンベンションの受け入れ状況について
- 今後のコンベンション誘致について

○ 長 野 孝 道

(20分)

【一括方式】

- 1 マイナンバーカードの普及促進について
 - 本市の現況について
 - 今後の登録に向けた対策について

- 2 大村湾の活性化と浄化対策について
 - 大村湾の現在の状況について
 - 大村湾での漁獲高の向上対策と浄化対策について

- 3 国際クルーズ外国人客の市内周遊対策について
 - 市内に引きとめる対策について
 - 将来の市内寄港の見通しについて

○ 宮 島 武 雄

(30分)

【一括方式】

1 有害鳥獣対策について

- アライグマによる被害と対策について

2 英語が話せるまちづくりについて

- 英語が話せるまちづくりの進捗について
- 今後の取り組みについて

3 いじめ、不登校について

- いじめ、不登校の現状と課題について
- 今後の対策について

○ 久 保 葉 人 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

1 児童生徒の学力向上のための施策について

平成31年4月の、全国の小学校第6学年・義務教育学校前期課程第6学年と中学校第3学年・義務教育学校後期課程第3学年を対象とした「平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査」の結果、本市の児童生徒の学力は調査教科の全てにおいて全国平均並びに長崎県平均を下回っていた。本市の児童生徒の学力の相対的な低さは常態化しており、本市教育方針の努力目標「確かな学力」はいまだ達成できていないと評価せざるを得ない。本市は常態化している児童生徒の学力不足の原因をいかに分析し、学力を向上させるためにいかに取り組んできたのかを問う。

2 緊急避難所の適正化について

平成31年3月に改定された内閣府の「避難勧告等に関するガイドライン」では、住民は、みずからの命はみずからが守る意識を持ち、みずからの判断で避難行動をとるとの方針が示された。また避難に当たっては、あらかじめ指定された避難場所へ向かうことにこだわらず、その時点で最善の安全確保行動をとることが重要とされている。本市における緊急避難所の現状と一時避難所の増設並びに避難所における生活支援の充実等の適正化について問う。

3 災害廃棄物処理計画の策定について

平成27年7月、平時の備えから大規模災害発生時の対応まで、切れ目なく災害廃棄物対策を実施、強化するため、廃棄物処理についての制度と災害対策についての制度の両方を改正する法律が公布され、同年、施行された。本法律で、国、地方自治体及び民間事業者には、それぞれが主体的に取り組み、かつ広域にわたって有機的に連携するよう、役割分担を明確化し、平時から計画的に対策すること等が求められている。本市の災害廃棄物処理計画の現状と今後の方針について問う。

4 早岐川河川改修工事の早岐茶市へ与える影響について

平成26年度より県の新規事業として進められている早岐川河川改修工事では、流下能力を確保するため、河口から祝田橋下流までの約1.8キロメートルの区間について、新川開削、河道拡幅、築堤、河床掘削及び橋梁のかけかえによる河道の整備等が行われる予定と聞く。一方で、早岐瀬戸沿岸部では、450年余りの歴史を持つ早岐茶市が毎年開催されているが、工事のために、その開催が危ぶまれるのではと懸念する声がある。早岐川河川改修工事が早岐茶市の開催に与える影響について問う。

○ 林 健 二 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

1 県立青少年教育施設について

市内に所在する県立佐世保青少年の天地及び県立世知原少年自然の家の運営について施設集約の動きがあると聞きますが、市教育委員会としてどのように対応されるのか伺いたい。

- 施設の現状課題と集約について、県教育委員会より、どのような説明を受けているのか
- 県立世知原少年自然の家の運営終了に関して、利用者及び地元の理解が得られると思われるか
- 関係者への十分な説明と論議が先決と考えるが、市教育委員会から強く働きかけすべきでは

2 養護老人ホームについて

老人福祉法第11条の規定による養護老人ホームへの入所の措置は、65歳以上で、在宅で日常生活を営むのに支障がある方に対して、適切に行われる必要があります。現在、市内四つの施設の入所率が8割程度となっており、非常に厳しい経営状況にあります。次の点について伺います。

- 入所率減の要因と対応について
- 福祉避難所指定と未耐震診断施設への市の支援強化について
- 国の指針に基づく入所者に対する調査及び指導について

3 国見山風力発電計画に係る国見山系の諸課題について

長崎県と佐賀県の県境に位置する国見山周辺における大型風力発電計画について、前回質問以降に係る動向と諸課題について、次の点について伺います。

- 国見山周辺のアカガシ原生林等の自然環境保全についての関係市町での協議の場の設置について
- 隣接自治体における再生可能エネルギー発電事業に関連した条例制定の独自の動きについて
- 公共宿泊施設（佐世保市世知原温泉・宿泊施設「山暖簾」）としての計画への懸念について
- 計画地の国有林を管理する佐賀森林管理署との協議の必要性について

4 中山間地域の農林業振興について

次期総合計画案での農林業の振興における施策の目標に掲げる、「農山村の持つ地域資源の維持・継承面積（1,531ヘクタール）」を目標年度に維持する方策として、より農家の現状に合った事業内容や業務体制のあり方を検討することが必要と考えますが、次の点について伺います。

- 市単独農業施設整備助成事業について
- 中山間地域等直接支払事業及び多面的機能支払交付金事業の業務体制について
- 条件不利地（棚田等）での営農継続支援の施策について

○ 大 村 哲 史

(3 0 分)

【一括方式】

1 本市の防災体制について

- 災害警戒本部設置について
- 災害警戒本部の体制（人員）について
- 事態発生後の災害警戒本部から災害対策本部への移行について
- 職員の招集について
- 全職員が災害時応急業務における役割を認識しているのか。

2 子どもの医療制度と支援制度について

- 乳幼児福祉医療制度と小中学生福祉医療制度について
- 母子・父子家庭福祉医療制度の実態について
- ひとり親家庭への支援制度について

○ 小 田 徳 顕 (15分)

【一問一答方式 (1回目から)】

1 石木ダム建設事業について

- 利水面の事業再評価について

2 I R 事業について

- 市民との合意形成について
- I R 事業の経済効果について
- ギャンブル依存症など負の影響について

3 母子健康手帳について

- 母子健康手帳の交付日、交付時間の拡大について

4 北松中央病院を含む公立・公的病院の再編・統合について

- 佐世保市の見解をお尋ねします

○ 小野原 茂

(25分)

【一括方式】

1 佐世保市の新たな文化振興と観光振興について

- 島瀬美術センター所蔵庫や近代化遺産等を生かした佐世保の歴史文化の掘り起こしと活用について

2 市立学校施設の建てかえ並びに改修について

- 市立学校施設の老朽化対策について
- モデル事業として実施している日野小学校の設計を進める中で見えてきた課題について

○ 大塚克史 (30分)

【一括方式】

1 新学習指導要領について

- 指導計画における英語教育、プログラミング教育などの現状について
- ICT活用の積極的な推進と環境整備について
- 導入による教員負担の認識と対策について

2 九十九島パールシーリゾートについて

- 西海国立公園九十九島水族館のリニューアル構想について
- 鹿子前観光ターミナルビルの今後の方向性について

3 改正道路交通法施行による準中型免許取得について

- 消防団員及び消防局職員に対する消防車両運用のための自動車運転免許取得の取り組みについて
- 若年層の移住・定住及び就労の促進について

○ 田 山 藤 丸 (30分)

【一問一答方式（2回目から）】

1 子ども・子育て施策について

現在、本市でも生産年齢人口の減少が進んでおり、出生率を改善させるために多様な施策が実施されているが、それぞれの事業効果についてどのような検証が行われているのか。さらに、出生率の推移と課題、年齢別出産状況、婚姻と出産の関係、既婚率、子育て中の女性の雇用環境や生活実態等について他都市と比較した場合の本市の特徴と現状分析、そして産休・育休中の資格取得支援について伺う。

2 未来を担う人財の育成について

大都市への人口集中を是正し、持続可能な地方都市を実現していくためには、教育機関・企業・地域と連携し、本市の将来を担う主体性のある人財の育成が必要不可欠である。そこで、以下の点についてお尋ねする。

- 自習室開設の取り組み
- 長崎県立大学大学院への職員入学

3 水産市場の活性化について

本市の水産市場は、近年の取扱量の減少に伴って施設に余剰が生じ、老朽化が進んでいる中、新たに高度衛生管理対策も求められている。また、隣接する関連棟は1階に空き店舗が目立ち、背後地の水産加工団地の活用も十分とは言い難い。そこで、市場の競争力強化と品質向上のための施設整備、多機能化、加工・流通拠点の誘致等、水産市場の活性化について本市の取り組みを伺う。

- 高度衛生管理対策
- 水産加工団地、水産市場関連棟のあり方
- 消費地としての魅力づくり

4 地区防災計画と避難行動要支援者対策について

災害発生時にみずから避難することが困難で、円滑かつ迅速に避難するため特に支援が必要な「避難行動要支援者」への支援体制の整備が急務である。そこで、本市における避難支援計画、福祉避難所等の現状についてお尋ねする。

- 地区防災計画の取り組み
- 避難行動要支援者対策と要支援者名簿の登録状況
- 福祉避難所の指定、公表状況
- 平常時の防災活動における見守り及び災害時の避難支援計画の策定

○ 橋之口 裕太 (25分)

【一問一答方式 (2回目から)】

1 俵ヶ浦半島開発について

八つのリーディングプロジェクトの一つである俵ヶ浦半島開発について伺います。

2 健康寿命延伸プロジェクトについて

健康寿命延伸プロジェクトのこれまでの取り組みと成果、今後の事業の方向性について伺います。

3 発達障害者支援法に基づく支援体制の構築について

発達障害者支援法に基づく本市の支援体制の現状と課題、今後の取り組みについて伺います。

○ 草津俊比古

(30分)

【一括方式】

1 佐世保市まち・ひと・しごと創生総合戦略について

- 活動の評価はされているのか
- 今後はどのように進められるのか
- 何が佐世保市での問題か

2 児童生徒の読書活動の充実について

- 読書大好き佐世保っ子プランについて
- 児童生徒への指導主体となる各小中学校における取り組みについて
- 読書充実の拠点施設である佐世保市立図書館における取り組みについて

3 石木ダム建設促進について

- 石木ダム事業のこれまでの経過及び現状認識について
- 建設促進に向けた今後の取り組み姿勢について